日南市内企業景況調査報告書

令和５年 10 月～12 月

１．実施概要

（１）回答企業数

回答企業数　　３３社

業種別

製造業	９社
建設業	８社
卸売業	３社
小売業	７社
サービス業	６社
合計　３３社	

（２）実施時期　令和５年 10 月～12 月期

（３）調査内容

調査対象の第２四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

（４）調査対象

日南市内の製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の５業種で合計３３社を調査対象とした。

（５）調査方法

日南市内の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を FAX 等で返信していただき、調査結果を集計し分析する。

（６）その他

業種別の結果については日南商工会議所ホームページにて掲載。

２．調査結果（ＤＩ）

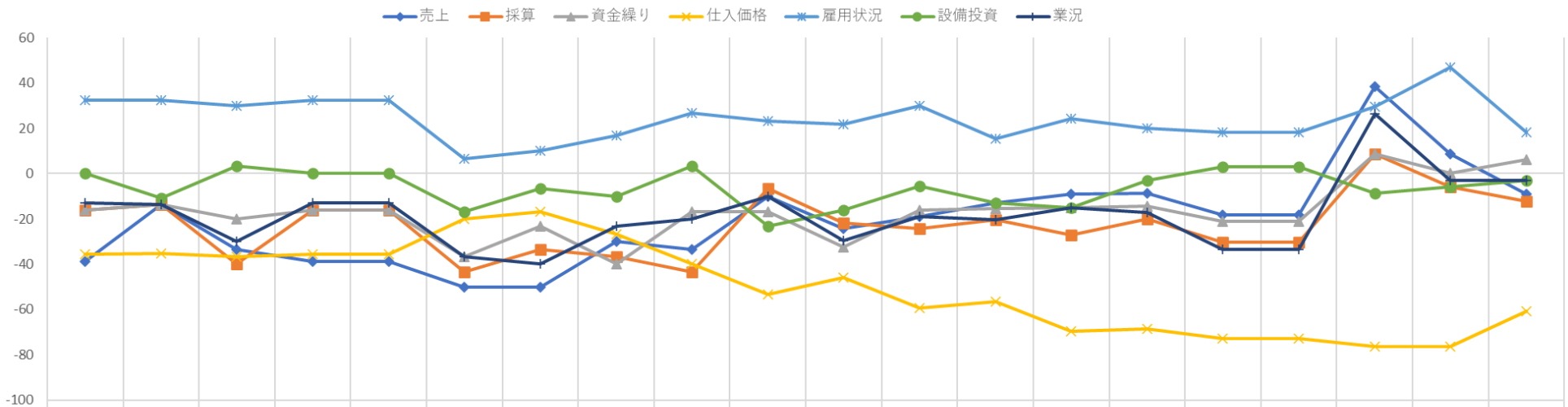
ＤＩとは（景況判断指数）とは

ＤＩは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値は景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

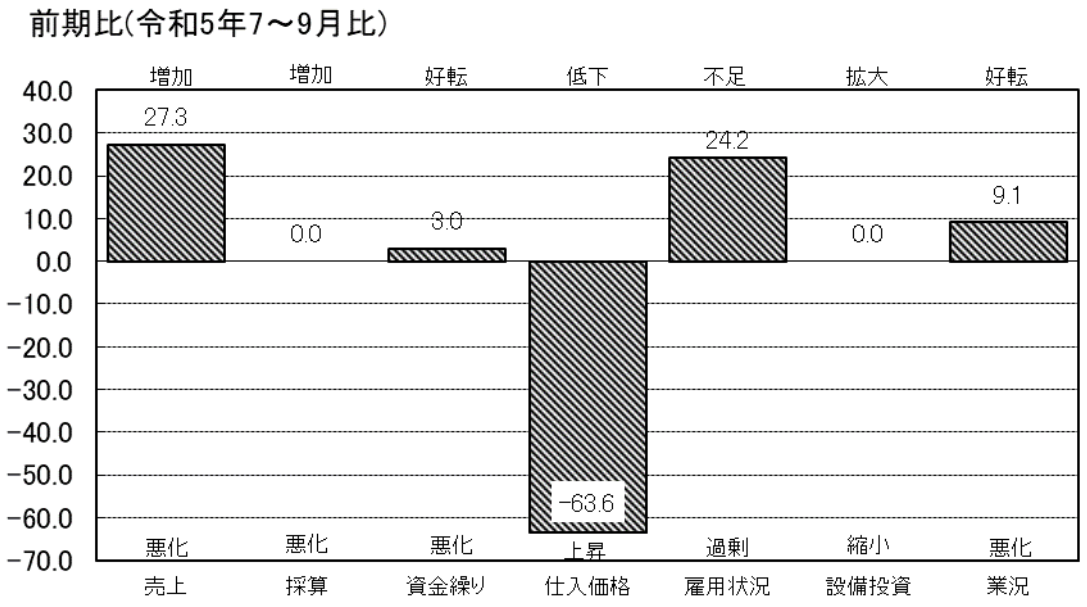
売　　上 DI	＝	（増加回答の割合）		－	（減少回答の割合）	
採　　算 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
資金繰り DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）
仕入価格 DI	＝	（下落	〃	）	－	（上昇	〃	）
雇用状況 DI	＝	（不足	〃	）	－	（過剰	〃	）
設備投資 DI	＝	（拡大	〃	）	－	（減少	〃	）
業　　況 DI	＝	（好転	〃	）	－	（悪化	〃	）

前年同期比（全企業DIの３か年の推移）

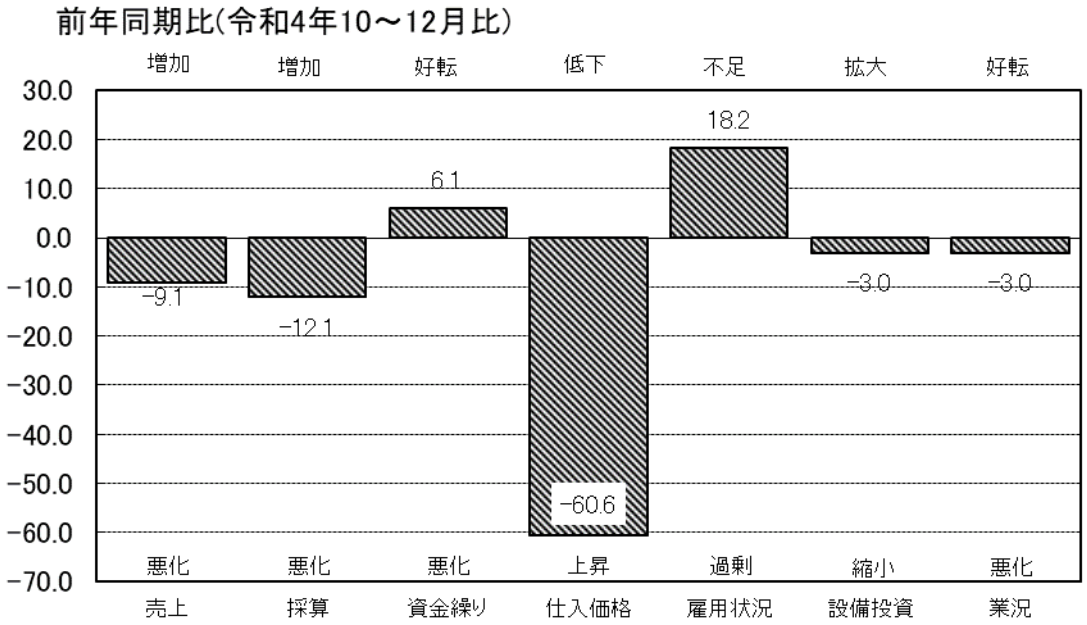


	19・1-3	19・4－6	19・7-9	19・10-12	20・1-3	20・4-6	20・7-9	20・10-12	21・1-3	21・4-6	21・7-9	21・10-12	22・1-3	22・4-6	22・7-9	22・10-12	23・1-3	23・4-6	23・7-9	23・10-12
売上	-38.7	-13.5	-33.3	-38.7	-38.7	-50	-50	-30	-33	-10	-24.3	-18.9	-12.8	-9.1	-8.6	-18.2	-18.2	38.2	8.8	-9.1
採算	-16.1	-13.5	-40	-16.1	-16.1	-43.3	-33.3	-36.7	-43.3	-6.7	-21.6	-24.3	-20.5	-27.3	-20.0	-30.3	-30.3	8.8	-5.9	-12.1
資金繰り	-16.1	-13.5	-20	-16.1	-16.1	-36.7	-23.3	-40	-16.7	-16.7	-32.4	-16.2	-15.4	-15.2	-14.3	-21.2	-21.2	8.8	0.0	6.1
仕入価格	-35.5	-35.1	-36.7	-35.5	-35.5	-20	-16.7	-26.7	-40	-53.3	-45.9	-59.5	-56.4	-69.7	-68.6	-72.7	-72.7	-76.5	-76.5	-60.6
雇用状況	32.3	32.4	30	32.3	32.3	6.7	10	16.7	26.7	23.3	21.6	29.7	15.4	24.2	20.0	18.2	18.2	29.4	47.1	18.2
設備投資	0	-10.8	3.3	0	0	-16.7	-6.7	-10	3.3	-23.3	-16.2	-5.4	-12.8	-15.2	-2.9	3.0	3.0	-8.8	-5.9	-3.0
業況	-12.9	-13.5	-30	-12.9	-12.9	-36.7	-40	-23.3	-20	-10	-29.7	-18.9	-20.5	-15.2	-17.1	-33.3	-33.3	26.5	-2.9	-3.0

３．市内の景気動向（全業種）

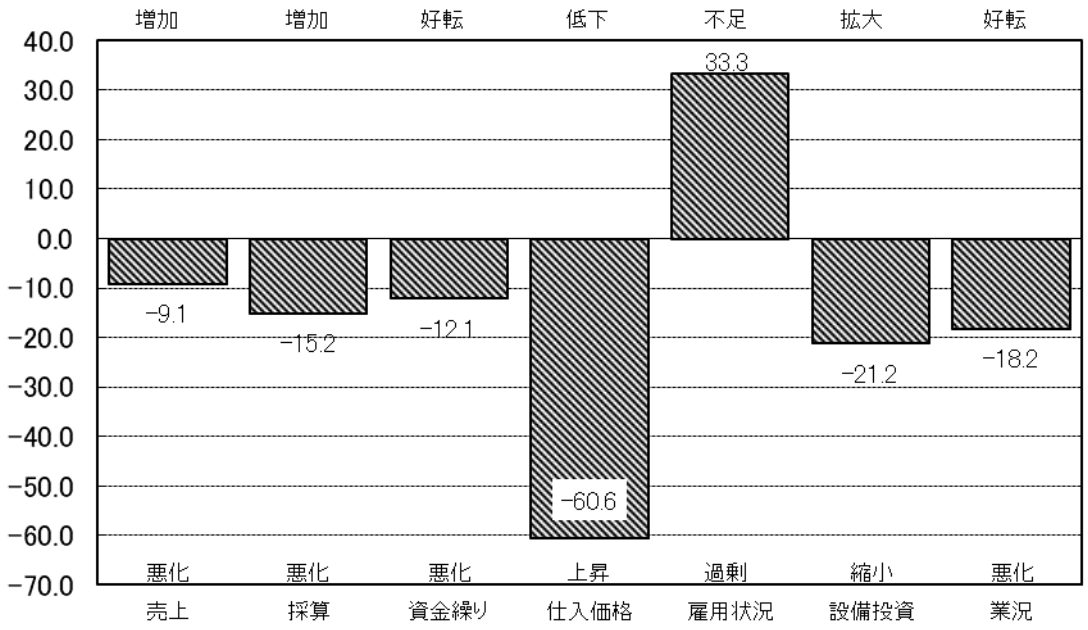


前期（令和５年７月～９月）と比較すると、特に仕入価格の上昇についての回答が多かった。原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前期比と比べて業績が悪化したと回答している事業所も多い中、売上が大きく増加している業種もあった。雇用状況については不足している事業所が多く、人件費高騰の回答も見られた。



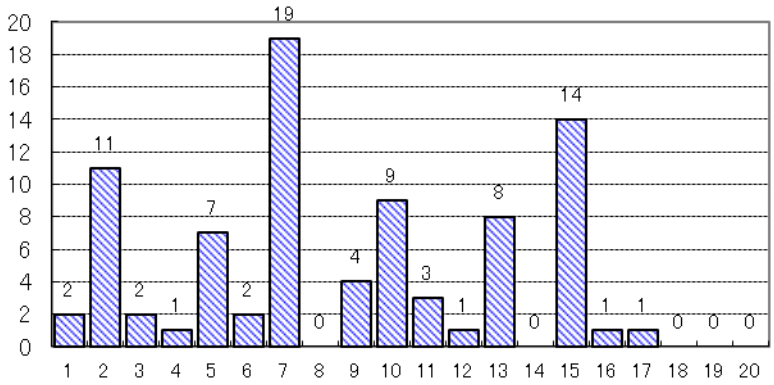
前年同期と比較すると、特に仕入価格の上昇についての回答が多かった。原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前年比と比べて業績が悪化したと回答している事業所も多い中、日南市のキャッシュレス決済キャンペーンで売上が増加している業種もあった。
雇用状況についても不足している回答が多かった。

来期見通し(令和6年1～3月見通し)



来期の見通しでは、仕入価格の上昇、燃料や人件費の高騰により採算や資金繰りの見通しが立たないという回答が多かった。依然として一部の資材の納入遅延が続いており、その景況が懸念されるという回答している事業所が多い中、受注増加見込みの業種もあり、好転の回答も見られた。

4．経営上の問題点（全業種）



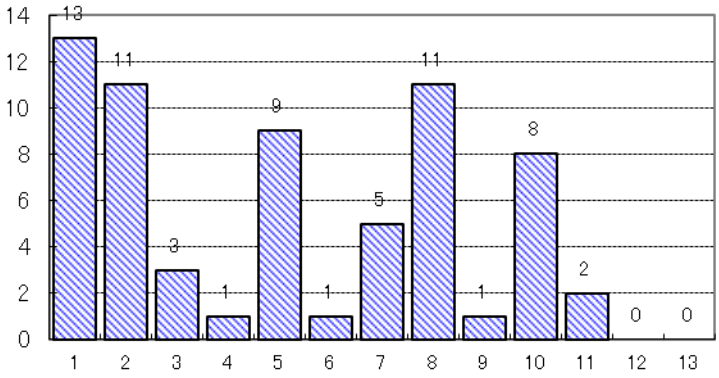
順位

１位	7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
２位	15. 従業員の不足
３位	2. 需要の停滞
４位	10. 人件費の増加
５位	13. 熟練技術者（従業者）の不足

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

5．今後の対応策



順位
１位　1. 従業員を新規雇用したい
２位　2. 生産性を向上させたい
２位　8. 新規市場を開拓したい
４位　5. その他の合理化を実施したい
５位 10.　経営の多角化を行いたい

項目一覧
1. 従業員を新規雇用したい
2. 生産性を向上させたい
3. 人件費を削減したい
4. 生産調整を行いたい（操業短縮など）
5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など）
6. 金融機関から資金を調達したい
7. 新製品の開発を行いたい
8. 新規市場を開拓したい
9. 業種転換を行いたい
10. 経営の多角化を行いたい
11. 下請発注を減らしたい
12. 海外へ生産拠点を移したい
13. 海外から原料・部品を調達したい

6．国・県への要望

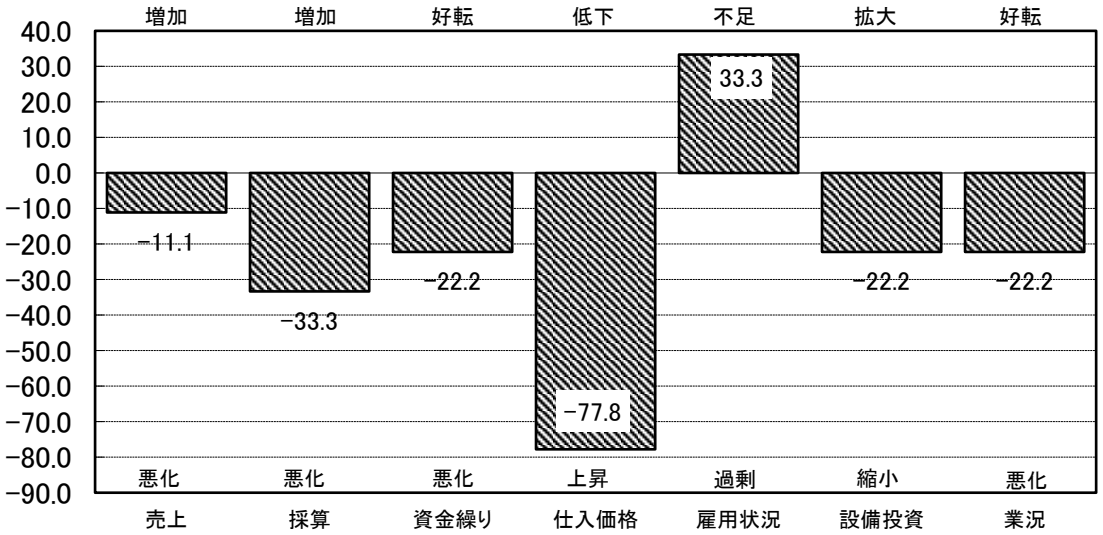
業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	コンクリート製品	日南	運賃の問題や値上げの対策
製造業	木材加工	日南	行政（国）に全く期待がもてないのが現状です
建設業	建設業	日南	物価高により原材料が上昇していて利益率が低っているので、原材料費の価格安定の為の対策をしてほしい
建設業	測量業	日南	公共事業の予算拡大
建設業	建設業	日南	株価は上昇しているが、実態経済とはかけ離れており、景気回復の兆しは感じられない。また長期的な景気対策として、人口減少対策に更に注力していただきたい。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道（日南～串間間）の予算確保御願いしたい。
卸売業	建築資材卸	日南	特にありません。ただ言えるのは、国民の感情と政治があまりにも乖離しているのではということです。
小売業	小売業	日南	景気の回復が一番だと思いますが、どの様な対策が必要かはよく分かりません
小売業	事務用品販売	日南	国会議員の悪い人達を成敗して頂き、議員数削減や無駄な費用を見直してもらい、その分の税金を国の繁栄対策に当てて欲しい。消費税を 0 に戻し、国民平等な景気対策。消費税がなくなれば、インボイスも無くなるので仕事の手間も省ける
小売業	百貨店	日南	需要（購買）に対して供給（店舗）が多く、東九州道開通、高齢化、急速な人口減で不採算店が増加、撤退が増加すると考えられる。キャッシュレス決済キャンペーンなど市内での購買 UP 策が必要と考える。※吾田への流入となり、油津地区が特に厳しいと感じる。
小売業	飲食小売業	日南	若者の雇用が難しい。IT とかに流れている。なので中年以上に雇用も消費も期待している。全国で起きていることだと思うので仕方ない。
サービス業	飲食業	日南	ミニ新幹線
サービス業	飲食店、旅行代理店	日南	インボイスが始まり、軽減税率の事務手続きが煩雑すぎ大変、軽減税率がなければもっと楽しくなるのに…軽減税率を廃止してほしい。

サービス業	警備	日南	特になし
サービス業	総合コンサルティング	日南	社会保険料をどうにかしろ！手取りが増やせない。年齢に関係なく3割負担にして、医療費を上げすぎないこと。医師会の圧力に屈っせず、現役世代、子ども達への投資社会リソースを配分してほしい。ライドシェアが動き出したこと、紙の保険証廃止は素晴らしい！法人税上げても良いけど社保は上げない。ポピュリズムに走らない。
サービス業	廃棄物処理業	日南	日南市の入札物件について、地元業者で出来るような仕事であっても県外の大手等や市外の業者を入札に含めたりしている。誰が税金を払っているのか考えて欲しい。

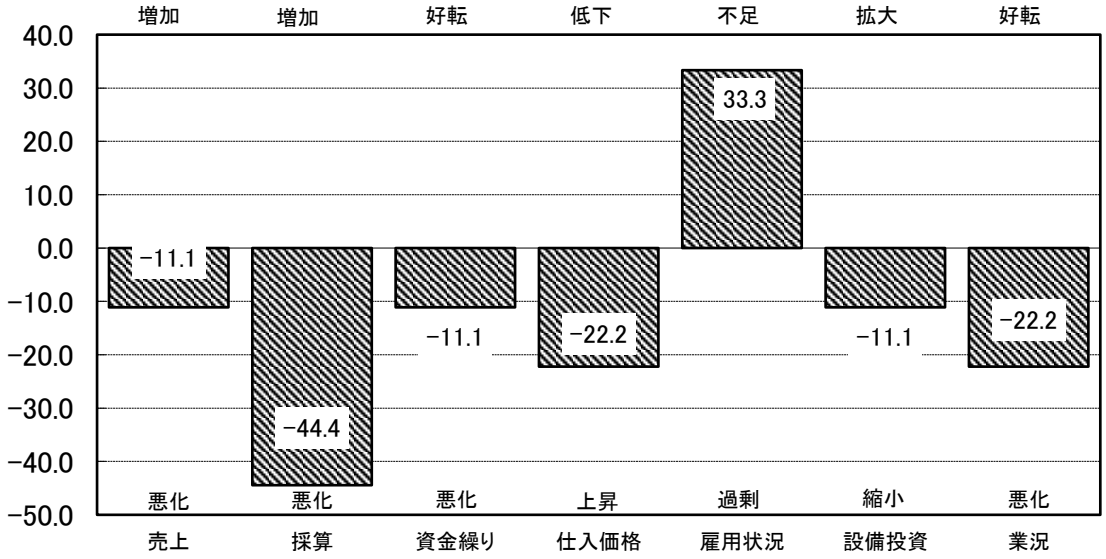
5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

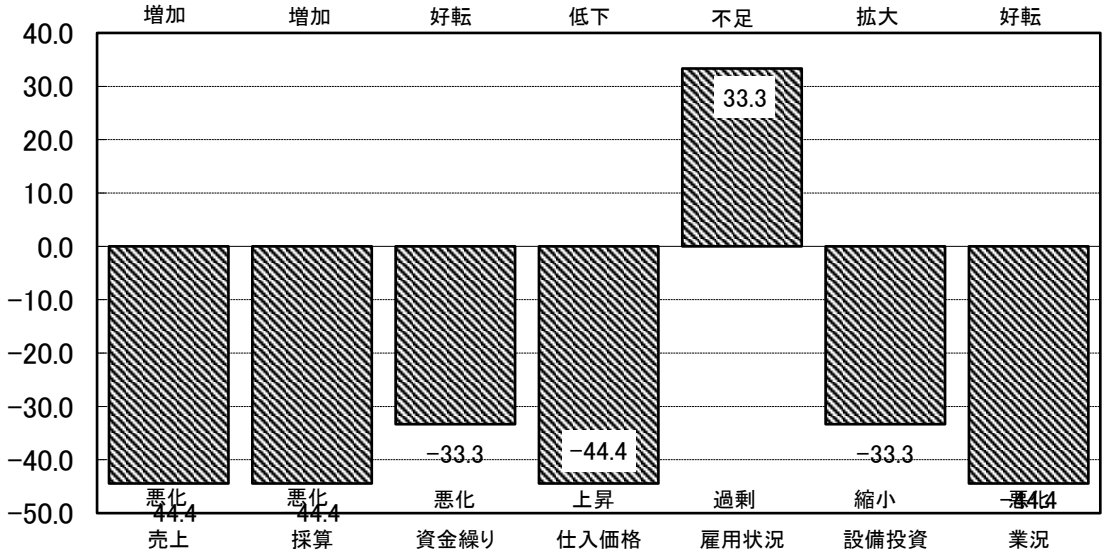
前期比(令和5年7～9月比)



前年同期比(令和4年10～12月比)

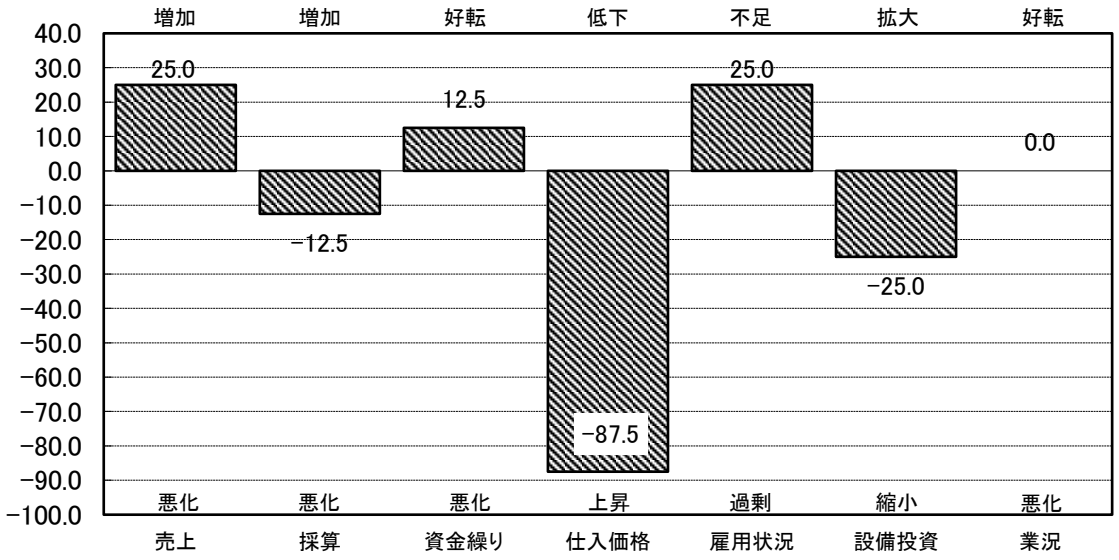


来期見通し(令和6年1～3月見通し)

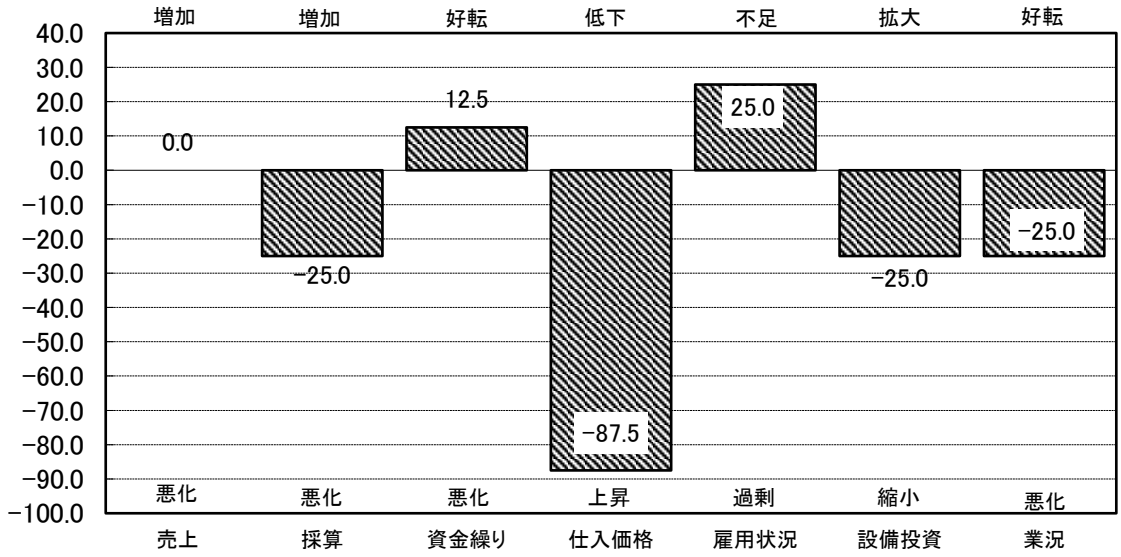


(2) 建設業

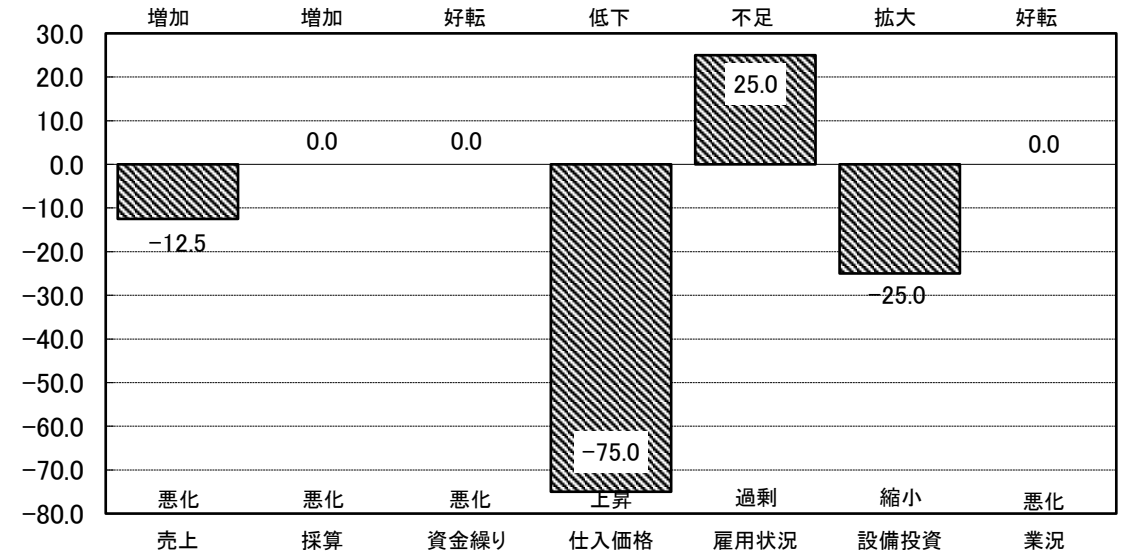
前期比(令和5年7～9月比)



前年同期比(令和4年10～12月比)

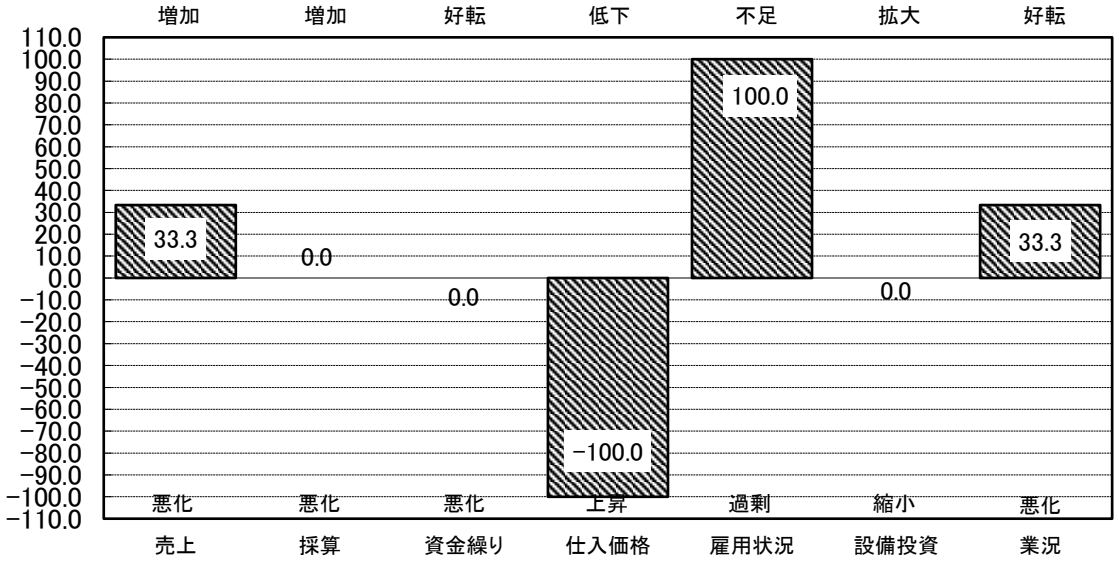


来期見通し(令和6年1～3月見通し)

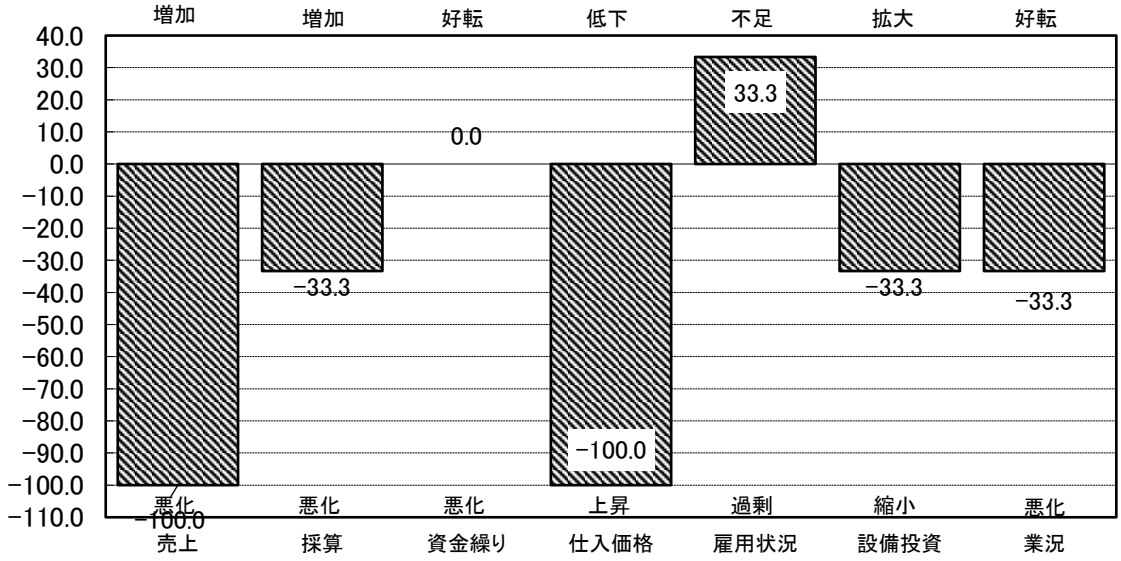


(3) 卸売業

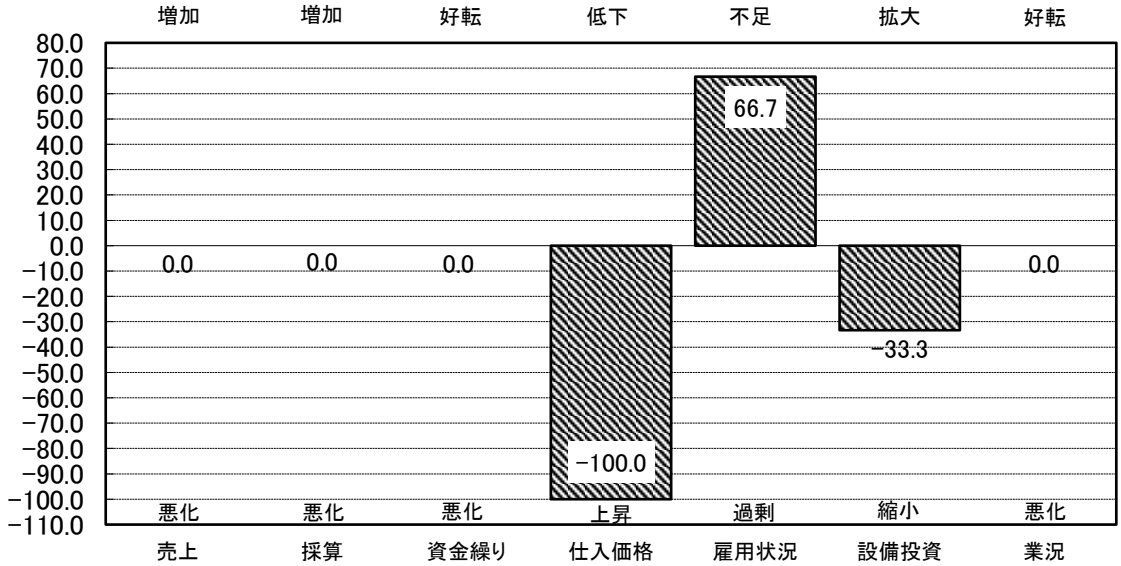
前期比(令和5年7～9月比)



前年同期比(令和4年10～12月比)

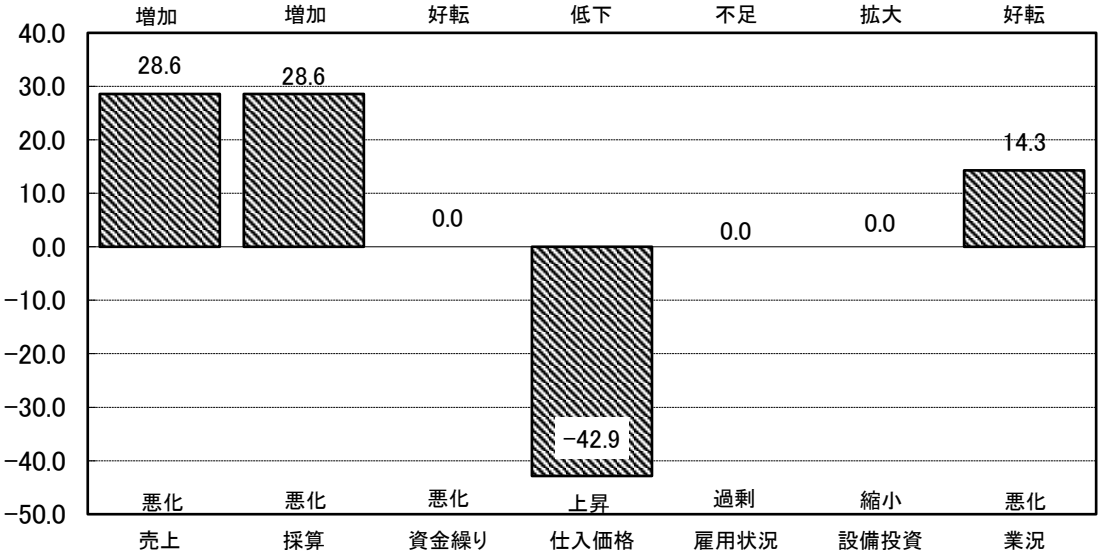


来期見通し(令和6年1～3月見通し)

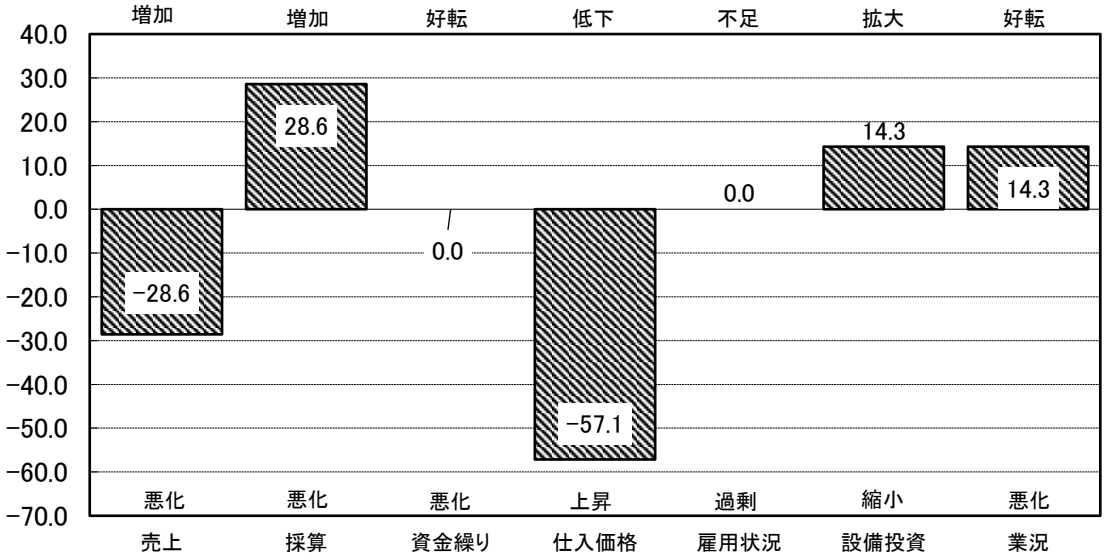


(4) 小売業

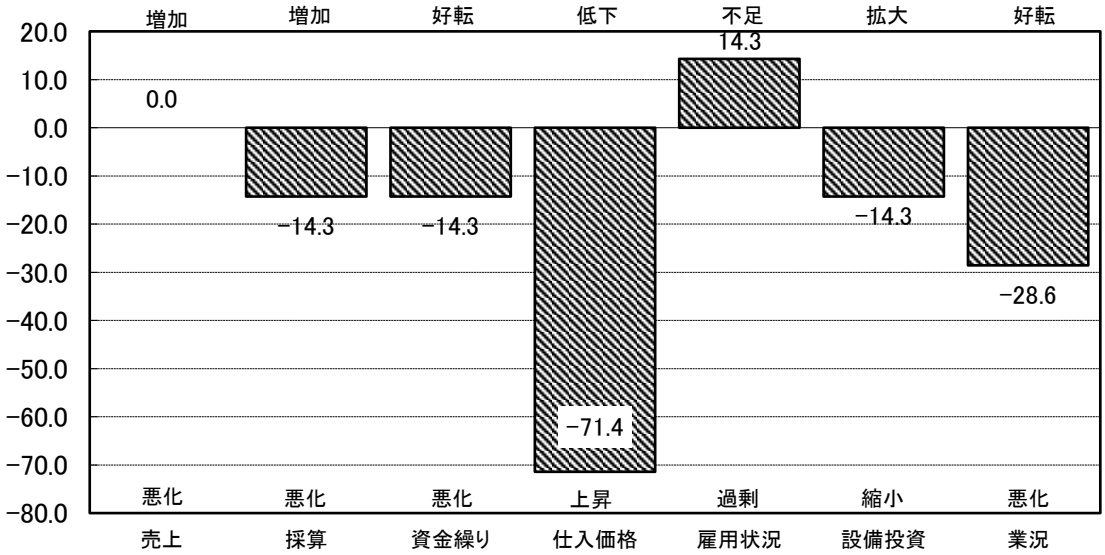
前期比(令和5年7～9月比)



前年同期比(令和4年10～12月比)

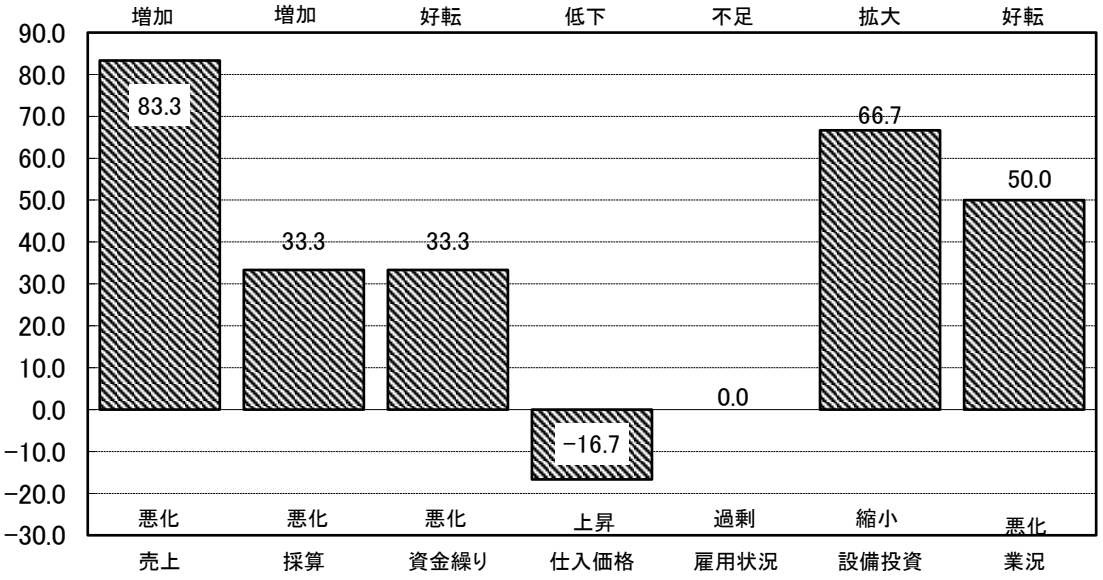


来期見通し(令和6年1～3月見通し)

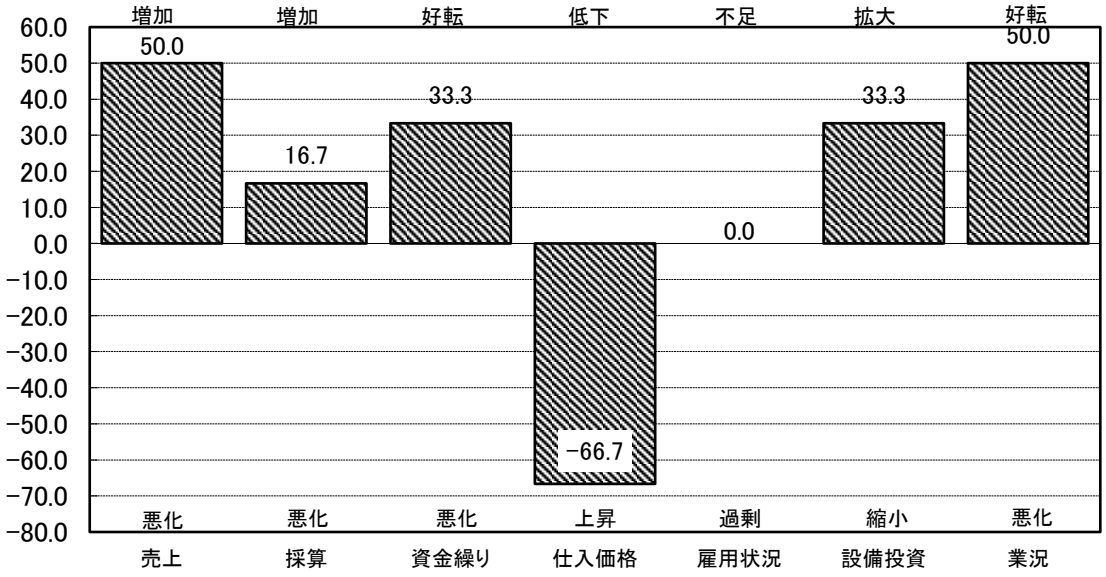


(5) サービス業（飲食関連・観光関連を含む）

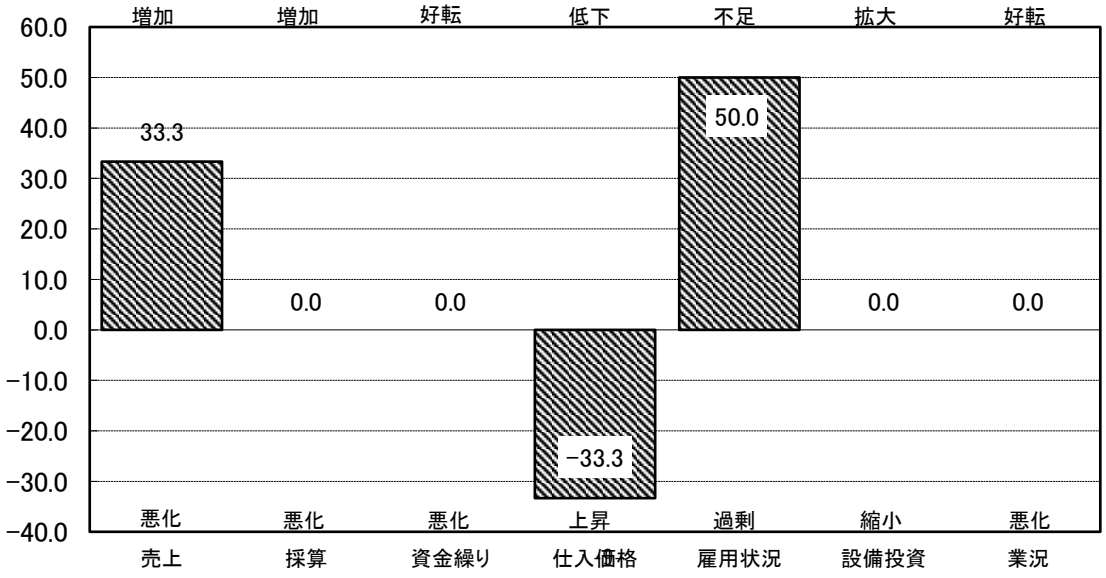
前期比(令和5年7～9月比)



前年同期比(令和4年10～12月比)

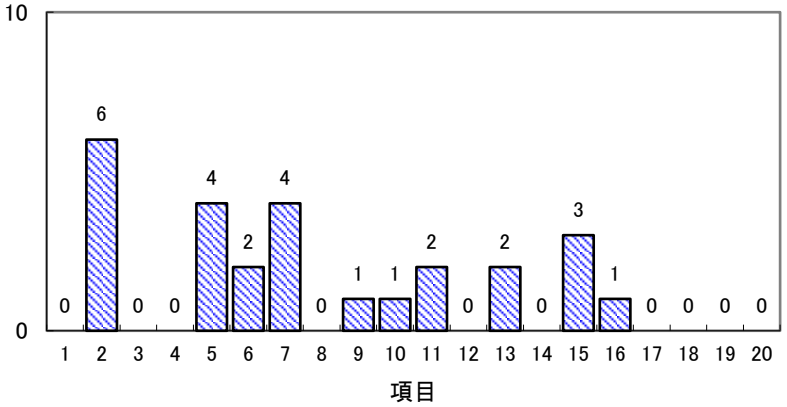


来期見通し(令和6年1～3月見通し)



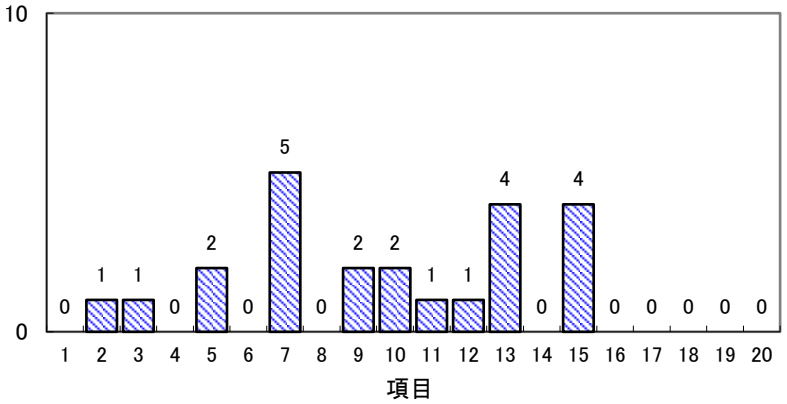
６．経営上の問題点

製造業



順位
1位 需要の停滞
2位 生産設備の不足・老朽化
3位 原材料（仕入単価）価格の上昇
4位 従業員の不足
5位 製品ニーズの変化

建設業

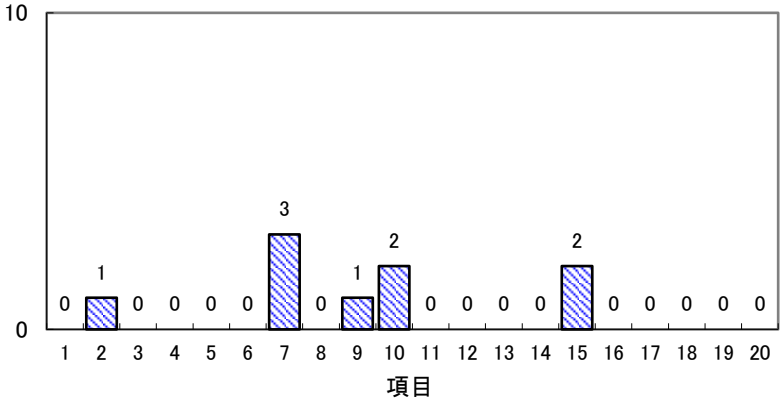


順位
1位 原材料（仕入単価）価格の上昇
2位 熟練技術者（従業者）の不足
3位 従業員の不足
4位 生産設備の不足・老朽化
5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

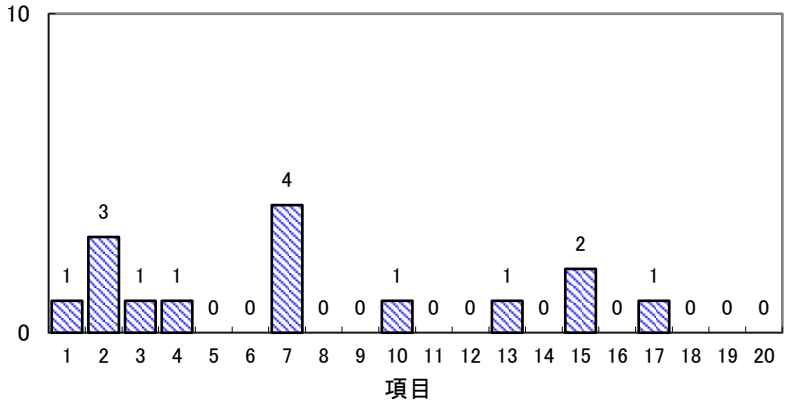
1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

卸売業



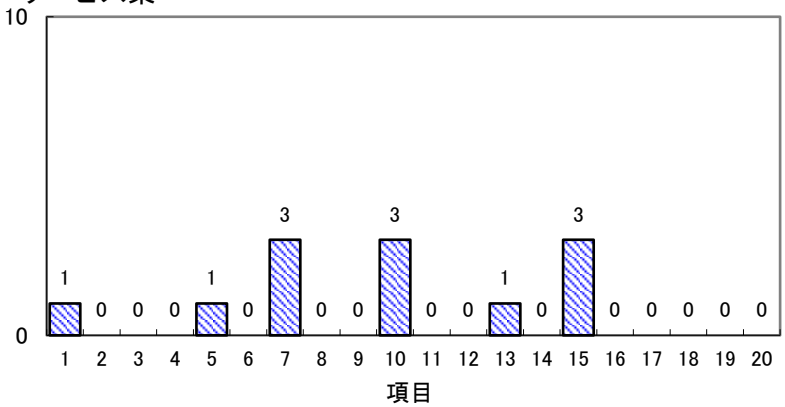
順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 人件費の増加
3位 従業員の不足
4位 需要の停滞
5位 原材料・人件費以外の経費の増加

小売業



順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 需要の停滞
3位 従業員の不足
4位 県外大手企業の進出による競争の激化
5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

サービス業



順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 人件費の増加
3位 従業員の不足
4位 県外大手企業の進出による競争の激化
5位 生産設備の不足・老朽化

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化